



この街が好きだから

## 武蔵野スケッチ物語

絵と文  
大須賀一雄

89

見慣れた風景も、絵になるとちよっと違う趣が出てきます。

そんな武蔵野の風景を、大須賀一雄さんが春夏秋冬で切り取って描きます。

### 桜堤一丁目にて

この作品は、最近桜堤一丁目  
で描いたものである。絵を描い  
ている時、久しぶりに何人かの  
知人と会い、お互いに近況を語  
り合えて良かったと思っている。  
ところで、最近次のような句  
を思いついたので紹介したい。

「濁音が前と後とで大違い、  
猫に小判が猫に御飯か」。この  
句は、何の取り柄もない句であ  
るが、何となくおかしさがあり、  
自分では気に入っている。

このほかに思いついた回文\*  
は、「私、車中で注射したわ」  
で、最近の作としては、そこそ  
この出来だと思っている。

このようなアイデアは、近く  
の喫茶店でコーラなどを飲みな  
がら考えている。しかし、なか  
なか面白いものができなくて、  
悩んでいるのが現状である。で  
も、私にとっては老化防止にも  
なると思うので、あれこれと知  
恵を絞って、挑戦している次第  
である。

\*回文とは、上から読んでも下から読んで  
も同様に読める文のことである

大須賀一雄（おおすか・かずお） 水彩画家。1937年群馬県出身。武蔵野市在住。画材は透明水彩。元JR東日本国際課勤務。JR東日本絵画クラブ初代事務局長。これまでJR東日本の駅の絵を1000点以上描き、新聞、雑誌、テレビなどでも紹介されている。著書は『あなたの街の駅物語』（日貿出版社）、『スケッチお手本帖』（素朴社）、『透明水彩の世界・ヨーロッパ』および『緑』（旅もようスケッチ会）ほか。2022年まで、JR東日本の大人の休日倶楽部のカレンダーの絵を担当。海外スケッチ旅行歴も長く、これまで50カ国以上を訪れ、個展も30回を超える。

◀『武蔵野スケッチ物語』連載90回記念 アンケートご回答者の中から大須賀さんのサイン入り著書『透明水彩の世界・緑』を10名にプレゼント！